

将来の子どもの学校教育環境を みんなで考えましょう

～仙北市への誇りと一体感を高め、地域づくりの担い手に～

本市の小・中学校では、児童生徒数が著しく減少し、多くの校舎で老朽化が進行しています。

子どもたちのために、将来に持続可能で充実した教育環境をつくるため、市民の皆さまと現状と課題を共有し、全学的な観点から学校の適正な規模や配置について検討を進めます。



問合せ／仙北市教育委員会 学校適正配置準備室
(西木庁舎) ☎43-3381

小・中学校の適正配置に関する意見交換会にご参加ください

日時	6月27日(月)	6月28日(火)	6月30日(木)	7月1日(金)	7月4日(月)	7月5日(火)
	18:30 から 1時間程度					
場所	白岩小学校	桧木内小学校	西明寺小学校	生保内小学校	神代小学校	角館小学校
	いずれも体育館。居住地区外にも参加可。					
対象	仙北市民 小・中学校および保育(こども)園の保護者の皆さまは、積極的なご参加をお願いします。 ※お子さま連れで来場し託児が必要な場合は、あらかじめ問合せ先までご相談ください。					
内容	小・中学校教育の現状と課題について説明(教育委員会から) 意見交換テーマ ～児童生徒数が著しく減少する中、持続可能で望ましい学校教育環境の構築に向けて～					

- ▶ 当日、発熱や体調不良がある方は、参加をご遠慮願います。
- ▶ 入場の際は、マスク着用にご協力ください。
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、急きょ中止する場合には、学校、保育(こども)園の保護者の皆さまには緊急メールでお知らせするほか、市ホームページ、市安全安心メールで情報配信します。なお、ご不明の場合はお問い合わせください。

学校適正配置に向けた検討の進め方(予定)

令和4年度	7月(仮称)学校適正配置検討委員会設置
	10月 学校教育に関するアンケート実施(小・中学校・保育(こども)園保護者など)
	3月 「学校適正配置方針」を策定 ※子どもたちにとって将来に望まれる学校像を設定(具体的な統合は含まず)
令和5年度～	「学校適正配置方針」に関する住民説明と意見交換会 ※望まれる学校像を実現する手段として、統合も含めて意見交換 「学校適正配置計画」の策定作業
令和8年度まで	「学校適正配置計画」を策定 ※校舎整備に伴う統合の場合は、数年かかることも考えられます。 ※一部の学校で統合が計画に先行することも考えられます。

現状と課題

児童生徒数が著しく減少

学校の小規模化が進み、複式学級の設置校の増加が見込まれます。
学校の小規模化はプラスの一面もありますが、多くの課題が指摘されています。

学校の小規模化が進むと・・・

プラス面 = 指導がきめ細やかで、人間関係が濃密となり異学年交流を行いやすい...など。
課題 = 一定規模の集団の中で、多様な考えにふれて意見を交わしたり、組織・協働で物事を成し遂げる体験や、切磋琢磨によって資質や能力を伸ばすといった教育場面を設定することが難しい...など。

複式学級とは、次の場合に2つの学年をまとめて1つの学級とすることです。

小学校...2つの学年を合わせて16人以下(1年生を含む場合は8人以下)
中学校...2つの学年を合わせて8人以下



【出生数の現状】

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全市	143	122	110	98	75	80	81

出生数が激減!

【児童生徒数の予測】 令和3年度までの出生数にもとづく予測。黄色は複式学級の設置。(人)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
小 学 校	角館	364	353	322	305	293	274
	白岩	51	45	46	41	43	35
	生保内	159	154	144	135	123	116
	神代	145	140	124	121	109	100
	西明寺	113	104	95	88	77	68
桧木内	48	51	42	40	39	35	
計	880	847	773	730	684	628	566

10年間で約半減に!
将来推計(令和2年度調査)によれば、
令和17年度...桧木内中学校
令和22年度...生保内小学校
で複式学級が設置となる可能性があります。

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
中 学 校	角館	281	276	246	208	191	180	190	184	176	166	146
	生保内	99	102	95	85	72	75	69	65	58	60	54
	神代	76	80	69	72	62	69	68	68	57	52	41
	西明寺	60	57	55	55	52	53	49	45	43	35	28
	桧木内	22	27	29	26	21	23	25	25	20	17	14
計	538	542	494	446	398	400	401	387	354	330	283	253

多くの校舎で老朽化が進行

すべての校舎で耐震基準を満たしていますが、外壁や屋根などに老朽化による傷みが多くみられます。
校舎改修の実施や規模を判断するうえでも、将来の学校の方向性を考える必要があります。

築年数	40年以上	30年以上	20年以上
校舎	生保内小、神代中、西明寺中、桧木内中	生保内中、角館中	白岩小、桧木内小

学校適正配置に関する提言書

平成28年度に学校適正配置研究検討委員会が、統合の検討に入るべき状況を提言しました。

- ①小学校においては、継続して複式学級が発生し、かつ全校児童数が50人を下回る事が予想される場合
- ②中学校においては、学年内に複数の学習グループを構成することができない状況が継続することが予想される場合
- ③上記①、②に該当しない場合であっても、近隣の学校への就学指定校変更を希望する傾向が顕著に表れてきた場合